

高取町の「新型コロナウイルスワクチン集団接種を巡る問題」について
高取町議会議員 野口勝也

まずこの度の問題発生につきまして、私共町執行機関を監視する立場でありながら、十分な役割を果たせなかったことに、不甲斐ない気持ちと同時に町民皆様方には多大な不安とご迷惑をおかけする結果となり大変申し訳なく思う次第でございます。

現在も百条議会中であり、調査途中である為、原因及び責任の所在は明らかになっておりません。そのことをふまえて現時点での私個人の意見として述べさせていただきます。

・問題発生の原因として

- ① ワクチン接種事業に対する十分な体制作りが出来ていなかった。
- ② ワクチン接種プロジェクトチームでの研修及び知識・情報の共有が十分に出来ていなかった。
- ③ 事案発生時の幹部の判断が適切でなかった。
- ④ 町民の健康・生命を守る、安心安全を与える為の事業にも関わらず、対応の遅れ等、危機管理が甘かった。

以上の要件などが原因であると考えられます。

・今後の対処として

2度打ち疑惑及び温度管理の不適切なワクチン接種等の対象の方々に対し感染症検査・抗体検査を実施されております。町には一刻も早くすべての対象者の安心と安全を確保して頂けるよう強く要望いたします。

また、議会と致しましても、原因及び責任の究明を急ぎます。

・改善案として

ワクチン接種プロジェクトチームの組織改革、そして正確な知識の徹底した習得、及び共有が必要であると考えます。

新型コロナワクチン接種は、町民皆様の健康・生命を守るための事業として始められ、その重要な事業における職務に町職員が勤しんでおられる姿をこれまで拝見してまいりました。それゆえに、このような深刻な問題が発生したことが残念でならず、また憤りを覚えます。今回の件は、町職員間の不調和や、危機管理の甘さが浮き彫りになった事案であると考えます。